

**平成 26 年度
喜多方市基本計画審議会**

意見書(答申)

**平成 26 年 11 月
喜多方市基本計画審議会**

喜多方市基本計画審議会意見書

喜多方市基本計画審議会（以下「審議会」という。）は、平成26年8月27日、市長からの委嘱並びに諮問を受け、喜多方市総合計画の基本計画の進捗状況について平成26年8月27日、9月25日、10月10日に調査及び審議を行いました。

その3回にわたる審議会での議論の結果を、市長に意見書として答申します。

施策の進捗状況は、概ね順調に進展していると認められますが、改善を要する点も見受けられますので、今後ともご努力をお願いします。また、本市においては、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の払拭に重点的に取り組んでいることを評価するとともに、今後も引き続き最重要課題として位置づけながら、総合計画の着実な施策の推進に努めてください。

なお、市民満足度・重要度調査は、この意見書の基礎となるものですので、より多くの市民の意向を反映できるよう、アンケートの回収率の向上等について検討してください。

平成26年11月5日

喜多方市長 山口 信也 様

喜多方市基本計画審議会

会長	唐 橋 幸市郎
職務代理者	武 藤 顯 夫
委員	佐 藤 一 栄
委員	齋 藤 勘一郎
委員	渡 部 孝 雄
委員	遠 藤 和 子
委員	島 俊 秀
委員	眞 部 久 男
委員	廣 瀬 雅 彦
委員	田 代 衛
委員	安 田 実
委員	秋 山 光 晴
委員	土 屋 広 治
委員	関 口 高 志
委員	五十嵐 信 幸
委員	牧 田 和 久
委員	岩 本 知美心
委員	峯 岸 よね子
委員	折 笠 光二良
委員	板 橋 秀 子
委員	齋 藤 信 一
委員	阿 部 敏 明
委員	芳 賀 忠 夫

大綱1 豊かな心を育むまちづくり ～ひとづくり～

No.	施策の方針	施策項目	
1	心を豊かにする生涯学習の推進	(1) 生涯学習の推進	(4) 社会教育施設・体育施設の整備
		(2) 生涯スポーツの推進	(5) 文化施設の整備
		(3) 文化活動への支援	
2	特色ある学校教育の推進	(1) 学力の向上対策	(5) 特別支援教育の充実
		(2) 心の教育	(6) 進路指導の充実
		(3) 学校保健・体育の充実	(7) 小・中学校施設の整備
		(4) 学校給食の充実	(8) 放射線教育の充実
3	安心して子育てができる環境整備の推進	(1) 子育て支援	(3) 幼稚園・保育所・児童館等の整備・運営
		(2) 地域における子育て力の向上	(4) 子育て世代の経済的負担の軽減
4	次世代を担う青少年の健全育成の推進	(1) 青少年の健全育成	(3) 人材の育成
		(2) 青少年団体等の育成	

1 成果指標

指標名	初期調査時 18年度	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	28年度 目標値	指標の説明
①生涯学習講座の受講者数[単年]	43,285人	41,900人	41,411人	40,487人	54,000人	生涯学習講座を受講した年間の延べ人数
②講師派遣事業支援実施数[単年]	—	34回	47回	40回	60回	勉強会等への講師派遣支援の年間の回数
③スポーツ大会等の参加者数[単年]	—	3,365人	5,698人	5,650人	7,500人	体育協会等が開催するスポーツ大会への年間の参加者数
④企画公演の参加者数[単年]	12,000人	20,968人	18,105人	21,505人	15,000人	喜多方プラザ企画公演への年間の参加者数
⑤市立図書館利用者数[単年]	28,500人	32,167人	32,764人	33,267人	34,700人	図書館利用者及び図書館企画事業参加者の年間の延べ人数
⑥市美術館事業参加者数[単年]	12,500人	14,423人	9,095人	31,166人	16,000人	美術館観覧者及び美術館企画事業参加者の年間の延べ人数
⑦学校コンピュータ整備数[累計]	700台	742台	738台	739台	1,100台	市内全域の小中学校のコンピュータ室、普通教室、特別教室に整備するパソコンの台数
⑧家庭で本を1か月に1冊以上読んだ児童生徒の割合[単年]	小学生	99.0%	98.9%	98.3%	100%	家庭での読書活動において、1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合
	中学生	91.1%	91.8%	88.2%	90%	
⑨児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率[単年]	—	66.4%	64.9%	70.5%	80%	小学校、中学校における、児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率
⑩耐震化学校施設の数[累計] (全72施設中、新耐震基準であるS57年以降建設の25施設を除く。)	耐震診断	37か所	47か所	47か所	47か所	校舎・体育館等の耐震診断又は耐震化改修工事を実施する学校施設の延べ数
	耐震化改修工事 1か所	18か所	24か所	30か所	35か所	
⑪出生率[単年] (人口千人あたり)	6.48人	6.67人	6.61人	7.20人	7.5人	年間の人口千人あたりの出生数

⑫育児不安が強い母親の割合[単年]	27.7%	41.7%	41.7%	28.1%	15%	4 か月児健診時に実施した子育てアンケートから、育児支援を必要とする母親の割合
⑬虫歯のない3歳児の割合[単年]	54.2%	70.1%	69.0%	73.1%	80.0%	3歳児検診時に虫歯のない子供の割合
⑭青少年のボランティア活動への参加者数[単年]	—	139人	899人	517人	180人	青少年の青少年育成、文化活動へのボランティアとして参加する人数

【成果指標からみた実績】

- ①「生涯学習講座の受講者数」は、高齢化及び人口減少などにより、減少傾向にある。
- ②「講師派遣事業支援実施数」は、各団体からの申請が減少した。
- ③「スポーツ大会等の参加者数」は、スポーツ交流都市宣言などに基つき、重点的に事業を進めた前年度と同程度となった。
- ④「企画公演の参加者数」は、喜多方プラザのリニューアル及び30周年記念事業などにより、増加した。【目標値達成】
- ⑤「市立図書館利用者数」は、順調に推移している。この状況を維持できれば目標値を達成することができる。
- ⑥「市美術館事業参加者数」は、「せびろまの夢 せはセザンヌのセ展」「高橋まゆみ人形展」が好評を博し、大幅に増加した。【目標値達成】
- ⑦「学校コンピュータ整備数」は、最も児童数が多い学級で1人増加したことにより、1台増加した。入れ替えた総数は92台となる。
- ⑧「家庭で本を1か月に1冊以上読んだ児童生徒の割合」は、児童生徒の読書冊数は増加しているものの、学校での読書指導及び活動が家庭での読書に結びつかなかったため、減少した。
- ⑨「児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率」が、むし歯有病者に対する指導を徹底したことにより処置への理解が図られたため、増加した。
- ⑩「耐震化学学校施設の数」は、計画どおり順調に推移した。【目標値達成（耐震診断）】
- ⑪「出生率（人口千人当たり）」は、出生数が363人と前年度より25人増え、人口が50,392人と前年度より749人減少したこともあり、増加した。
- ⑫「育児不安が強い母親の割合」は、行政、医療機関、子育て支援団体などがスムーズに連携でき、妊娠期からの早期のハイリスク者に対応できたため、減少した。
- ⑬「虫歯のない3歳児の割合」は、幼児健康診査でのむし歯にならないおやつの摂り方や生活習慣についての指導を充実させたことにより、増加した。
- ⑭「青少年のボランティア活動への参加者数」は、前年度に日本スポーツ少年団50周年記念事業として各少年団で清掃美化活動に取り組んだことにより大幅に増加しており、継続して一定程度の人数が参加したものの、前年度より減少した。【目標値達成】

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 喜多方プラザ文化センターや美術館の利用者数が増加しており、企画に魅力があったと評価します。
- ・ 青少年のボランティア活動への参加者数について、ボランティア活動の対象範囲を広げてください。

2 市民満足度・重要度調査結果

項 目	満足度			重要度		
	19 年度	25 年度	26 年度	19 年度	25 年度	26 年度
(1)生涯学習に参加する機会について (1の①～②)	55.6	57.2	58.7	69.1	76.3	73.4
(2)スポーツ活動に参加する機会について (1の③)	53.0	58.5	57.5	69.7	74.3	72.7
(3)音楽や演劇などに接する機会について (1の④～⑥)	54.7	52.0	52.4	67.3	70.4	71.4
(4)学校教育の充実について (1の⑦～⑩)	51.4	57.9	57.8	79.6	85.8	85.9
(5)乳幼児を育てやすい環境の整備について (1の⑪～⑬)	48.8	52.5	52.9	84.5	90.2	90.1
(6)青少年の健全育成について (1の⑭)	49.8	50.5	54.5	81.1	85.7	86.0
平 均	52.2	54.8	55.7	75.2	80.4	79.9

※19 年度、25 年度、26 年度に実施した市民満足度・重要度アンケート調査による。

【市民満足度・重要度調査結果についての解説】

以下の文章には、次の内容を記載しています。（※項目は、大綱 1 から大綱 5 まで合わせて 26 項目あります。）

- ・満足度・重要度のポイントの増減
前年度及び今年度の調査結果に基づいた各項目のポイントの増減になります。
- ・満足度・重要度の順位
前年度及び今年度の調査結果に基づいた各項目の順位になります。各項目の相対的な位置づけであり、市民の満足の高低、関心の高低がわかります。
- ・満足度で「わからない」を選んだ割合
満足度で「わからない」を選んだ割合が 40%を超えた項目について記載しています。市民に内容があまり知られていないものと推測されます。
- ・満足の理由、不満の理由、重要とする理由、重要でないとする理由
今年度の調査で満足・重要などを選択した理由や市民の意見などの主なものを記載しています。
- ・その他、特記事項
特筆すべき内容について記載しています。

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 生涯学習に参加する機会について

前年度との比較では、満足度は 1.5 ポイント増加し、重要度は 2.9 ポイント減少した。

満足度の順位は 26 項目中 3 位となり、重要度の順位は 26 項目中 22 位となった。

満足の理由として、

「公民館活動の農業・園芸関係には満足している。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「魅力的ではあるものの平日の活動が主で、参加できないのが少し残念です。」

といった意見が多かった。

(2) スポーツ活動に参加する機会について

前年度との比較では、満足度は 1.0 ポイント減少し、重要度は 1.6 ポイント減少した。

満足度の順位は 5 位となり、重要度の順位は 23 位となった。

重要とする理由として、

「後期高齢の年代になるにつれて生涯学習や生涯スポーツが必要になってくる。」

といった意見があった。

(3) 音楽や演劇などに接する機会について

前年度との比較では、満足度は0.4ポイント増加し、重要度は1.0ポイント増加した。

満足度の順位は17位となり、重要度の順位は24位となった。

(4) 学校教育の充実について

前年度との比較では、満足度は0.1ポイント減少し、重要度は0.1ポイント増加した。

満足度の順位は4位となり、重要度の順位は10位となった。

満足の理由として、

「小学校農業科など、市独特のすばらしい機会を子供達に与えている。」

といった意見があったほか、

「太極拳のまちを宣言しているならば、体育の授業などで体を動かせたら楽しめるのではない
でしょうか。」

との提案もあった。

(5) 乳幼児を育てやすい環境の整備について

前年度との比較では、満足度は0.4ポイント増加し、重要度は0.1ポイント減少した。

満足度の順位は16位となり、重要度の順位は2位となった。

不満の理由として、

「子育て支援の重要性が叫ばれている中で、公立保育所の閉園時間が早く、預けたいのに預け
られない。また、病児保育・病後保育を受け入れてくれる施設が少ない。」

といった意見が多かった。

重要とする理由として、

「特に子供の成長のための施策が必要と思う。生まれた子を預けられる施設の充実。子育て環
境が良くなれば子供が増える。」

といった意見があった。

特記事項として、一般層調査（20代～70代）の満足度が52.9ポイントであるが、若年層調査
（20代～30代）の満足度は40.4ポイントであり、12.5ポイントの差があった。

(6) 青少年の健全育成について

前年度との比較では、満足度は4.0ポイント増加し、重要度は0.3ポイント増加した。

満足度の順位は14位となり、重要度の順位は9位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が43.6%と高かった。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・乳幼児を育てやすい環境の整備について、若年層の満足度が低いことから、若年層を意識して取り組んでください。

大綱2 魅力ある産業が有機的に結びつくまちづくり ～産業づくり～

No.	施策の方針	施策項目	
1	地域の特色を生かした活力ある農林業の振興	(1) 担い手の育成・確保	(6) 農村環境・農業基盤の整備・保全
		(2) 農地の有効利用の促進	(7) 畜産業の振興
		(3) 農作物生産への支援	(8) 林道の整備
		(4) 農林産物の販路拡大	(9) 林業の振興
		(5) 環境にやさしい農業の推進	(10) グリーン・ツーリズムの推進
2	地域の個性を生かした商工業の振興	(1) 商業の振興	(5) 新しい産業の振興
		(2) 地場産業の振興	(6) 企業誘致の促進
		(3) ものづくりの振興	(7) 就業機会の確保と雇用創出の推進
		(4) 中小企業への支援	
3	もてなす心が温かい喜多方流観光の推進	(1) 温かい心くばりによる「おもてなし」の推進	(5) 観光資源のネットワーク化と広域連携の促進
		(2) 着地型観光の推進	(6) 情報発信の強化
		(3) まちづくり団体との連携と推進体制の強化	(7) 風評被害の払拭
		(4) 地域特性を活かしたイベント等の開催	

1 成果指標

指標名	初期調査時 18年度	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	28年度 目標値	指標の説明
①認定農業者数 [累計]	303人	464人	457人	449人	580人	農業の担い手の確保を示す人数
②農用地の集積率 [累計]	39.6%	54.6%	51.5%	52.5%	70.0%	効率的かつ安定的な農業経営への集積目標
③園芸作物施設化率 [累計]	—	14.3%	14.3%	17.1%	30.0%	グリーンアスパラガスの生産における施設栽培面積の割合(JA会津いいで調べ)
④エコファーマー数 [累計]	—	2,177人	2,162人	2,161人	3,000人	福島県から「持続性の高い農業生産方式導入計画」の認定を受けた者(エコファーマー)の人数
⑤農地・水保全管理 活動組織数[累計]	—	54組織	70組織	73組織	65組織	農地・水保全管理活動に取り組む組織数
⑥民有林間伐面積 [単年]	—	94ha	30ha	43ha	274ha	民有林における間伐実施面積
⑦グリーン・ツーリズム 交流人口[単年]	7,900人	8,536人	4,840人	4,493人	24,000人	グリーン・ツーリズム関連イベント等の交流人口
⑧有効求人倍率 [単年]	0.71倍	0.66倍	0.82倍	0.82倍	1.00倍 以上	会津若松公共職業安定所喜多方出張所に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合
⑨地元就職率[単年]	100%	98.5%	98.4%	99.6%	100%	管内新規高卒者で就職希望者数のうち、就職内定者数の割合
⑩観光客入込数 [単年]	172万人	160万人	171万人	184万人	220万人	本市を訪れた年間の観光客数
⑪宿泊人数[単年]	140,000人	125,000人	66,000人	69,000人	180,000人	市内の旅館、ホテル等の年間の宿泊人数 ※目標値及び平成23年度実績までは推計値。平成24年度以降は実績。

【成果指標からみた実績】

- ①「認定農業者数」は、高齢化などにより、再認定者が減少傾向にある。
 - ②「農用地の集積率」は、農用地利用集積円滑化団体による斡旋や、座談会などにおける担い手への集積誘導が図られたため、増加した。
 - ③「園芸作物施設化率」は、補助事業による施設化が促進されたため、増加した。
 - ④「エコファーマー数」は、高齢化などにより、新規認定や認定期間満了後の更新者が少なくなり、減少した。
 - ⑤「農地・水保全管理活動組織数」は、制度に関する普及啓発により加入が促進されたため、増加した。
- 【目標値達成】
- ⑥「民有林間伐面積」は、国・県からの補助を受けて間伐を実施するための森林経営計画の策定が進んだため、増加した。
 - ⑦「グリーン・ツーリズム交流人口」は、風評被害などにより、減少した。
 - ⑧「有効求人倍率」は、前年度と同率となった。
 - ⑨「地元就職率」は、求人数が増えたことにより、増加した。
 - ⑩「観光客入込数」、⑪「宿泊人数」は、震災前の数値を目指して風評被害の払しょくなどの営業活動が実を結んだことや、震災から3年が経過し、旅行者の意識の変化があったことなどにより、増加した。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・「グリーン・ツーリズムのまち宣言」をし、積極的に交流を行ってきたこともあり、風評被害を払拭すべく、グリーン・ツーリズムの推進に前向きに努めてください。
- ・観光客入込数が東日本大震災及び震災に伴う原発事故以前の水準に戻りつつあるなかで、新たな観光資源の開発、創出に取り組んでください。

2 市民満足度・重要度調査結果

項 目	満足度			重要度		
	19 年度	25 年度	26 年度	19 年度	25 年度	26 年度
(1) 農林業の振興について (1 の①～⑥)	43.5	45.5	47.0	76.4	81.7	82.7
(2) 商工業の振興について (1 の⑧～⑨)	42.4	43.6	49.8	73.6	81.9	81.7
(3) 市内における就業の機会や企業誘致について (1 の⑧～⑨)	29.2	23.3	28.1	84.2	91.6	88.8
(4) 観光の振興について (1 の⑦・⑩～⑪)	55.3	54.8	59.3	76.7	81.9	82.5
平 均	42.6	41.8	46.1	77.7	84.3	83.9

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 農林業の振興について

前年度との比較では、満足度は1.5ポイント増加し、重要度は1.0ポイント増加した。

満足度の順位は 22 位となり、重要度の順位は 13 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 43.1%と高かった。

(2) 商工業の振興について

前年度との比較では、満足度は 6.2 ポイント増加し、重要度は 0.2 ポイント減少した。

満足度の順位は 20 位となり、重要度の順位は 16 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 47.2%と高かった。

満足の理由として、

「イベントの開催などがいろいろあって、観光客だけでなく地元の人も楽しむ機会が多いのはとてもよい。」

といった意見があった。

(3) 市内における就業の機会や企業誘致について

前年度との比較では、満足度は 4.8 ポイント増加し、重要度は 2.8 ポイント減少した。

満足度の順位は最下位の 26 位となり、重要度の順位は 5 位となった。

重要とする理由として、

「産業・企業誘致は就職や人口に関わってきますので大事だと思います。」

といった意見があった。

(4) 観光の振興について

前年度との比較では、満足度は 4.5 ポイント増加し、重要度は 0.6 ポイント増加した。

満足度の順位は前年度の 7 位から 2 位へと上昇し、重要度の順位は 14 位となった。

満足の理由として、

「レトロ横丁、ラーメンフェスタ・そばフェスタなど、一生懸命取り組んでいると思う。」

「観光客だけでなく地元の人も楽しむ機会が多いのはとてもよい。」

「(きたかた喜楽里博など) 年間を通して色々なイベントが行われていることはとても大切なことだと思います。市外からのお客様に対して飽きさせない、また来たくなるイベントを展開し、どんどんリピーターになって頂きたい。」

といったイベントを好感する意見が多かった。その他に、

「日帰りの観光地としてはよいところだと思います。」

との意見があった一方、不満の理由として、

「大人数を受け入れられる宿泊施設がないため、喜多方市にお金が落ちてこない。」

との意見があった。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・「花でもてなす喜多方」について、集客面で大変有益であると評価します。
- ・道の駅「喜多の郷」を中心に周辺の自然環境などを活用した観光振興に、より一層努めてください。
- ・各関係機関と連携し、民間の活動を大切にしてください。

大綱3 みんなの知恵と協働で創るまちづくり ～地域社会づくり～

No.	施策の方針	施策項目	
1	住民と行政の協働の推進	(1) 地域コミュニティ活動の促進	(2) 市民活動の促進
2	男女共同参画の推進	(1) 男女共同参画社会の推進	
3	地域間交流の推進	(1) 地域間交流の推進	(3) 海外協力活動の支援
		(2) 国際交流の推進	
4	自然・歴史・文化に誇りがもてる地域資源の活用	(1) 地域に残る自然や歴史文化等の保全と活用	(2) 伝統文化・歴史の継承と旧市町村史の活用

1 成果指標

指標名	初期調査時 18年度	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	28年度 目標値	指標の説明
①一行政区一運動実施行政区数[累計]	105区	176区	182区	190区	195区	運動に取り組んだ行政区の数 (全行政区数 272)
②NPOやボランティアとの協働事業数[単年]	—	17件	18件	16件	25件	NPOやボランティアと連携 (支援や協力) して取り組んだ事業数
③喜多方市市民活動支援センター運営団体の会員数[累計]	団体会員 4団体	団体会員 8団体	団体会員 8団体	団体会員 5団体	団体会員 24団体	喜多方市市民活動支援センター運営団体(喜多方市市民活動サポートネットワーク)の会員数
	個人会員 39人	個人会員 80人	個人会員 74人	個人会員 56人	個人会員 160人	
④NPO法人組織数[累計]	9団体	21団体	20団体	21団体	20団体	本市のNPO法人の組織数
⑤審議会等における女性委員の割合[単年]	22.7%	27.5%	32.1%	31.5%	40.0%	本市の審議会等の委員数に占める女性委員の割合
⑥地域間交流活動参加者数[単年]	395人	47人	166人	169人	700人	各種地域間交流イベントへの年間の参加者数
⑦国際交流活動参加者数[単年]	135人	82人	175人	185人	250人	各種国際交流事業への年間の参加者数
⑧文化財活用事業の参加者数[単年]	217人	2,070人	2,138人	2,116人	2,000人	文化財を活用した各種事業への年間の参加者数

【成果指標からみた実績】

- ①「一行政区一運動実施行政区数」は、行政区長会などで事業推進を依頼した結果、新たに8行政区が事業を実施した。
- ②「NPOやボランティアとの協働事業数」は、福島県地域づくり支援事業2件及び喜多方まちづくりセンターへの事業協力の計3件が終了し、新たにボートインストラクター研修会への事業協力を行った。
- ③「喜多方市市民活動支援センター運営団体の会員数」は、団体会員3団体が脱会した。また、個人会員の整理を行ったところ18人が退会した。
- ④「NPO法人組織数」は、1団体増加した。【目標値達成】
- ⑤「審議会等における女性委員の割合」は、委員が女性から男性に変更となった審議会などが増えたため、減少した。
- ⑥「地域間交流活動参加者数」は、友好都市交流促進事業の実施により友好都市との交流イベントへの参加者が増えたほか、会津北部・置賜南部交流推進懇話会が裏磐梯秋祭りに共催するかたちで事業を行ったため、増加した。
- ⑦「国際交流活動参加者数」は、実施事業へ参加する人数が増加した。

- ⑧「文化財活用事業の参加者数」は、特別事業として「自由民権運動 130 周年記念事業」があった前年度と同程度となった。【目標値達成】

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 審議会等の女性委員の割合について、各課の増減のバランスを取るなど目標値の達成に努力してください。

2 市民満足度・重要度調査結果

項 目	満足度			重要度		
	19 年度	25 年度	26 年度	19 年度	25 年度	26 年度
(1)住民と行政との協働によるまちづくりについて（1の①～④）	48.9	50.3	55.1	73.7	80.8	77.1
(2)男女共同参画の推進について（1の⑤）	48.4	51.4	51.8	63.4	76.4	71.0
(3)国際交流・地域間交流の推進について（1の⑥～⑦）	53.2	53.3	55.6	59.1	68.3	65.9
(4)蔵等の地域資源の保全や利活用について（1の⑧）	50.9	53.5	56.8	66.6	75.7	74.1
平 均	50.4	52.1	54.8	65.7	75.3	72.0

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて

前年度との比較では、満足度は 4.8 ポイント増加し、重要度は 3.7 ポイント減少した。

満足度の順位は前年度の 19 位から 11 位へと上昇し、重要度の順位は 18 位となった。

満足の原因として、

「子供に非核平和の精神を伝えようとする点はすばらしいと思っていた。」

といった意見があった。

不満の原因として、

「ボランティアの募集をネットで探しましたがホームページがなかなか更新されていなかった
ので定期的な更新は必要かと思いました。」

といった意見があった。

(2) 男女共同参画の推進について

前年度との比較では、満足度は 0.4 ポイント増加し、重要度は 5.4 ポイント減少した。

満足度の順位は 19 位となり、重要度の順位は前年度の 20 位から 25 位へと下降した。

満足度でわからないを選んだ割合が 46.0%と高かった。

(3) 国際交流・地域間交流の推進について

前年度との比較では、満足度は 2.3 ポイント増加し、重要度は 2.4 ポイント減少した。

満足度の順位は 9 位となり、重要度の順位は最下位の 26 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 47.4%と最も高かった。

満足の原因として、

「国際交流や地域間交流は、お互いの文化などを知る良い機会になるし普段生活する中で交流することは少ないと思うので良いと思う。」

「国際交流については、小・中学生時代や青年の人達が他の国の人々に触れて交流できることは、とても大切だと思います。多様な人々、色々な人達を理解し、文化的に発展していったほしい。それが小さいことながら世界の平和につながると 생각합니다。」

といった意見があった。

(4) 蔵等の地域資源の保全や利活用について

前年度との比較では、満足度は3.3ポイント増加し、重要度は1.6ポイント減少した。

満足度の順位は8位となり、重要度の順位は20位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が40.5%と高かった。

満足の原因として、

「蔵はこれからも補助を続け、保全に努めてほしい。若い人も蔵を利用し活動できるようになれば良いと思う。」

といった蔵に対する補助制度への意見が多かった。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・喜多方市市民活動支援センターについて、市民への周知と適切な活動の充実に努めてください。
- ・アジア諸国へ目を向けるなど、国際交流活動のさらなる充実に努めてください。

大綱4 健康と思いやりで創る安全で安心なまちづくり ～くらしづくり～

No.	施策の方針	施策項目	
1	安心で健康に暮らせる保健・医療体制の推進	(1) 健康づくりの推進	(3) 地域医療体制の充実
		(2) 予防対策の推進	(4) 国民健康保険制度等の適正な運営
2	地域で育む福祉体制の推進	(1) 高齢者への生活支援	(3) 保健・福祉施設の整備
		(2) 障がい者への生活支援	(4) 社会保障等の推進
3	安全・安心の防犯・防災体制・交通安全対策等の推進	(1) 消防・防災体制の充実	(5) 交通安全の推進
		(2) 防火性や耐震性等の向上	(6) 防犯体制の整備
		(3) 避難体制の確立	(7) 地すべり等危険箇所の対策
		(4) 救急救助体制の充実強化	

1 成果指標

指標名	初期調査時 18年度	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	28年度 目標値	指標の説明
①特定健診受診率 [単年]	—	35.2%	35.4%	(推計値) 34.6%	65%	特定健診を受けた人の割合 (各年度の法定報告「国保特定健康診査・特定保健指導国庫負担金事業実績報告値」)
②胃がん検診受診率 [単年]	—	15.3%	14.9%	14.8%	50%	胃がん検診を受けた人の割合 (地域保健報告)平成23年度から 内視鏡検査を含む
③大腸がん検診受診率 [単年]	—	21.4%	20.5%	21.0%	50%	大腸がん検診を受けた人の割合 (地域保健報告)平成23年度から 無料クーポン受診者を含む
④いきいき高齢者数 [累計]	13,891人	12,971人	13,036人	12,956人	15,500人	要介護の認定を受けていない 高齢者の人数 (いきいき高齢者の割合)
	—	82.7%	82.2%	81.1%	88.9%	
⑤太極拳愛好者数 [累計]	1,100人	642人	624人	617人	2,000人	市内の太極拳愛好者数
⑥太極拳ゆったり体操愛好者数 [累計]	—	1,008人	1,101人	1,122人	1,500人	市内の太極拳ゆったり体操愛好者数
⑦就労継続支援利用者数 [累計]	—	143人	143人	142人	170人	障がい者で、知識や能力の向上のためのサービスを利用し、生産活動を通して社会参加をしている人数
⑧火災発生件数 [単年]	36件	26件	19件	21件	18件以下	広域消防予防課による市内の年間火災発生件数
⑨交通事故による死傷者数 [単年]	324人	238人	231人	242人	220人以下	福島県警察本部交通事故発生状況による市内の年間の交通事故による死傷者数
⑩刑法犯発生件数 [単年]	491件	452件	351件	275件	200件以下	喜多方警察署生活安全課による市内の年間刑法犯発生件数

【成果指標からみた実績】

- ①「特定健診受診率」は、電話などによる受診勧奨を行ったものの、減少した。
- ②「胃がん検診受診率」は、施設検診の内視鏡検査受診者が200人弱増加したものの、集団の透視検査が少なかったことにより、減少した。
- ③「大腸がん検診受診率」は、65歳以上の施設検診が増加した。医療機関を通しての受診勧奨が効

果的だったと考えられる。

- ④「いきいき高齢者数」は、要介護者数が増えたことにより、減少した。
- ⑤「太極拳愛好者数」は、高齢化などにより参加者数が減少してきており、教室などの開催数も減少しているため、減少傾向にある。
- ⑥「太極拳ゆったり体操愛好者数」は、教室などが新たに開始されたことなどにより普及が進んだため、増加した。
- ⑦「就労継続支援利用者数」は、1人減少した。
- ⑧「火災発生件数」は、予防消防に取り組んだものの、増加した。
- ⑨「交通事故による死傷者数」は、交通安全啓発活動を推進したが、増加した。
- ⑩「刑法犯発生件数」は、関係機関及び各団体などによる防犯活動により、市民の防犯意識が高まることで犯罪が起きにくい地域になってきており、減少した。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

・就労継続支援利用者数の目標値の達成に、より一層努めてください。

2 市民満足度・重要度調査結果

項 目	満足度			重要度		
	19 年度	25 年度	26 年度	19 年度	25 年度	26 年度
(1)病院などの地域医療体制の充実について (1の①～③)	38.2	42.6	42.5	93.3	92.9	91.0
(2)健康づくりや病気の予防対策の推進について (1の④～⑥)	55.6	55.3	55.1	86.4	87.7	84.7
(3)障がい者やお年寄りなどのための福祉サービスについて (1の⑦)	49.6	52.8	52.0	87.5	90.3	89.4
(4)保健・福祉施設の整備について	51.8	53.8	53.4	84.3	89.2	85.9
(5)自然災害や火災などの防災対策について (1の⑧～⑨)	55.1	52.0	54.6	87.7	90.4	89.6
(6)犯罪や風紀などの防犯対策について (1の⑩)	51.4	54.2	56.9	86.9	88.0	86.3
平 均	50.3	51.8	52.4	87.7	89.7	87.8

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 病院などの地域医療体制の充実について

前年度との比較では、満足度は0.1ポイント減少し、重要度は1.9ポイント減少した。

満足度の順位は24位となり、重要度の順位は1位となった。

満足の理由として、

「日曜に見てくれる小児科があり助かっている。子育てサポートセンターの機能を利用したいが忙しくなかなか訪ねられず残念である。良いシステムである。」

「休日・夜間の医療は満足しています。一層の充実をお願いします。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「産婦人科がある病院が少なく感じる。」「夜間の小児医療体制が整備されていない。」

といった意見があった。

(2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について

前年度との比較では、満足度は0.2ポイント減少し、重要度は3.0ポイント減少した。

満足度の順位は前年度の6位から12位へと下降し、重要度の順位は12位となった。

不満の理由として、

「近隣の市町村では安価な公設のフィットネスがある。」

といった意見があった。

(3) 障がい者やお年寄りなどのための福祉サービスについて

前年度との比較では、満足度は0.8ポイント減少し、重要度は0.9ポイント減少した。

満足度の順位は前年度の12位から18位へと下降し、重要度の順位は4位となった。

満足の理由として、

「高齢者・障がい者のための生活支援ありがとうございます。」

「特に不自由なく暮らしていけるのは福祉が充実しているからだと思います。」

「高齢者の支援は十分支援できていると思います。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「高齢者を抱え、働きながら生活していく事への不安があります。」

といった意見があった。

(4) 保健・福祉施設の整備について

前年度との比較では、満足度は0.4ポイント減少し、重要度は3.3ポイント減少した。

満足度の順位は前年度の9位から15位へと下降し、重要度の順位は前年度の6位から11位へと下降した。

(5) 自然災害や火災などの防災対策について

前年度との比較では、満足度は2.6ポイント増加し、重要度は0.8ポイント減少した。

満足度の順位は13位となり、重要度の順位は3位となった。

(6) 犯罪や風紀などの防犯対策について

前年度との比較では、満足度は2.7ポイント増加し、重要度は1.7ポイント減少した。

満足度の順位は7位となり、重要度の順位は8位となった。

満足の理由として、

「町の中を巡回してくれるのはいいと思います。」

といった意見があった。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

・ 高齢者を抱える家庭が安心して働けるように、高齢化対策により一層努めてください。

大綱5 自然と共生する美しく快適なまちづくり ～ふるさとづくり～

No.	施策の方針	施策項目	
1	快適な生活環境の形成	(1)道路の整備	(8)下水道、農業集落排水の整備
		(2)除雪体制の整備	(9)浄化槽設置の促進
		(3)河川の整備	(10)公営住宅の整備
		(4)水路等の整備	(11)国土調査事業の推進
		(5)公園の整備	(12)公共交通機関の充実
		(6)駅周辺の整備	(13)地域情報化の推進
		(7)水道施設の整備	
2	人と自然に配慮した環境の形成	(1)良好な景観の保全と形成	(3)環境の保全
		(2)清流対策の推進	
3	地球環境を意識した循環型社会の形成	(1)廃棄物減量化の促進	(2)新エネルギーの導入

1 成果指標

指標名	初期調査時 18年度	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	28年度 目標値	指標の説明
①市道の改良率 [累計]	75.9%	79.2%	79.3%	79.4%	85.9%	市道の総延長に占める改良された市道の割合
②市道の舗装率 [累計]	70.3%	73.6%	73.8%	74.3%	80.3%	市道の総延長に占める舗装された市道の割合
③街路整備率 [累計]	64.9%	76.8%	76.9%	77.0%	70.0%	計画に対する都市計画道路の改良延長割合
④一人当たりの都市公園面積[累計]	6.81 m ² /人	7.52 m ² /人	7.56 m ² /人	7.61 m ² /人	8.10 m ² /人	都市計画区域内人口1人当たりの都市公園の面積
⑤水道普及率 [累計]	—	86.1%	86.4%	86.5%	86.2%	簡易水道を含めた水道の普及率
⑥下水道等普及率 [累計]	55.6% (H19年度)	60.6%	60.8%	61.6%	81.0%	総人口に占める公共下水道、農業集落排水、浄化槽等利用可能人口の割合
⑦水洗化率[累計]	77.4% (H19年度)	85.4%	85.9%	86.1%	89.0%	下水道が使える区域の人口のうち接続した人口の割合
⑧公共交通カバー率[累計]	—	82.9%	89.7%	99.8%	99.5%	公共交通を利用可能な人口割合
⑨公共交通利用者数[単年]	—	298人/日	287人/日	240人/日	595人/日	1日の公共交通利用者数
⑩水質の浄化度 市内主要河川のBODの数値[単年] ※県の調査データ	1.6mg/ℓ	1.0mg/ℓ	1.7mg/ℓ	意見書作成時 未公表	1.0mg/ℓ	測定位置： 田付川「下川原橋」
	1.6mg/ℓ	1.2mg/ℓ	1.2mg/ℓ	意見書作成時 未公表	1.0mg/ℓ	測定位置： 濁川「濁川橋」
⑪花いっぱいコンクール参加件数[単年]	52件	43件	52件	39件	130件	花いっぱいコンクールに応募された年間の件数
⑫1人1日当たりのごみ排出量[単年]	—	911g	942g	970g	850g	市民1人当たりのごみの排出量
⑬リサイクル率 [単年]	14.8%	15.3%	16.0%	15.8%	27.0%	一般家庭等から収集しているごみに占める資源物の割合
⑭住宅用太陽光発電システムの導入量[累計]	—	1,100kW	1,581kW	1,986kW	2,133kW	市内における住宅用太陽光発電システム導入量

【成果指標からみた実績】

- ①「市道の改良率」、②「市道の舗装率」、③「街路整備率」は、事業が順調に進捗した。【目標値達成（街路整備率）】
- ④「一人当たりの都市公園面積」は、増加傾向にあるが、都市計画区域内の人口減少によるものである。
- ⑤「水道普及率」、⑥「下水道等普及率」、⑦「水洗化率」は、新たな接続などの整備が進んだ。【目標値達成（水道普及率）】
- ⑧「公共交通カバー率」は、喜多方地区で実証運行が開始され、利用可能人口は増加した。【目標値達成】
- ⑨「公共交通利用者数」は、路線バス2路線の廃止により、減少した。
- ⑩「水質の浄化度」は、意見書作成時点で未公表である。（福島県の調査となる。）
- ⑪「花いっぱいコンクール参加件数」は、写真部門と現地部門を統一したため、減少した。
- ⑫「1人1日当たりのごみ排出量」は、増加傾向となった。原因は不明であるが、広域圏内は同様の傾向にある。
- ⑬「リサイクル率」は、ごみの排出量自体が増加したため、リサイクル率は減少した。
- ⑭「住宅用太陽光発電システムの導入量」は、再生可能エネルギー固定価格買取制度や、国・県・市による設備設置への補助金制度などにより、市民がシステム導入に対して積極的になったため、順調に増加している。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

・小水力発電などの新エネルギーの導入について、より一層推進してください。

2 市民満足度・重要度調査結果

項 目	満足度			重要度		
	19 年度	25 年度	26 年度	19 年度	25 年度	26 年度
(1)道路の整備について（広さや舗装） （1の①～③）	46.3	43.1	45.7	82.0	84.4	82.4
(2)ゴミやし尿、生活排水などの衛生処理の 整備について（1の⑤～⑦・⑫）	51.9	58.5	57.4	88.6	88.9	87.7
(3)公園や広場の整備について （1の④）	46.6	44.6	48.0	73.2	75.2	74.0
(4)公共交通機関の利用環境の整備について （1の⑧～⑨）	43.5	37.7	34.6	77.9	78.5	77.1
(5)市内を流れる水路の清流化や環境の保全 について（1の⑩）	49.8	50.6	55.2	82.0	80.9	81.0
(6)資源ゴミなどリサイクル状況について （1の⑬）	57.0	65.0	65.9	87.2	87.1	87.6
平 均	49.2	49.9	51.1	81.8	82.5	81.6

【市民満足度・重要度調査結果】

（1）道路の整備について

前年度との比較では、満足度は2.6ポイント増加し、重要度は2.0ポイント減少した。

満足度の順位は23位となり、重要度の順位は15位となった。

満足の理由として、

「除雪は大きい道路に関しては良いと思う。」「主要道路はよく整備されていると思います。」

「喜多方市が合併する際に、一番心配したのが除雪サービスの悪化やインフラ整備悪化だったが、今のところ、それは感じられない。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「歩行者が歩く道路が狭いため、子供や観光客が安心して歩けるように整備すべき。」

「道路の整備は他の事業よりとても進んでいると思います。もっと他の事に力を入れてほしいです。」

といった要望のほか、

「街周辺ばかりが整備され農地などの整備がされない。」

「整備されてはいるが補修がおいついてない。石だたみの破壊されたところが多い。」

「街路樹が大きく育ち、根が盛り上がって道がデコボコしており、歩いていて危険だと思うことがあります。」

といった具体的な意見もあった。

(2) ゴミやし尿、生活排水などの衛生処理の整備について

前年度との比較では、満足度は1.1ポイント減少し、重要度は1.2ポイント減少した。

満足度、重要度の順位はともに6位となった。

不満の理由として、

「町内を流れる水路の水量が少なく悪臭がする。特に夏は虫もでる。」

といった意見があった。

(3) 公園や広場の整備について

前年度との比較では、満足度は3.4ポイント増加し、重要度は1.2ポイント減少した。

満足度、重要度の順位はともに21位となった。

不満の理由として、

「子供を公園に連れて行っても遊具がありません。すべり台・ブランコ、満足なものがほとんどありません。」

「市で公園などを管理している割にはトイレが汚い。建物などにも落書きなどが書いてあったりしているので不満である。」

「草だらけで何も手入れされていない公園がたくさんある。あれでは子供達も遊べないし、遊具がサビていて危ない。」

「公園の管理整備など町内会と連携し、出来ないか。」

といった現状への意見が多かったほか、

「子供を遊ばせる大きな公園がなく不満である。」

との近隣自治体と比較しての意見もあった。

(4) 公共交通機関の利用環境の整備について

前年度との比較では、満足度は3.1ポイント減少し、重要度は1.4ポイント減少した。

満足度の順位は25位となり、重要度の順位は19位となった。

満足の理由として、

「予約型乗合交通はとても効率的な方法だと思うので、もっと利用しやすくPRも地域ごとに
するなど検討してはどうか。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「公共交通機関が少なすぎる。」「バスがなく不便。タクシーは高い。」

「会津バスが廃止されたことによって、お年寄りが大変困っています。お年寄りが外に出て行く
機会を減らしてしまっている。」

「(デマンド交通は) 事前予約のようですが急な外出などには利用できず、困っている方も多
いようです。」

といった意見があった。

(5) 市内を流れる水路の清流化や環境の保全について

前年度との比較では、満足度は4.6ポイント増加し、重要度は0.1ポイント増加した。

満足度の順位は前年度の17位から10位へと上昇し、重要度の順位は17位となった。

満足・不満の理由として、

「河川などのゴミは見られなくなってきましたが、小川から悪臭がするときがあります。」

といった意見があった。

(6) 資源ゴミなどリサイクル状況について

前年度との比較では、満足度は0.9ポイント増加し、重要度は0.5ポイント増加した。

満足度の順位は1位となり、重要度の順位は7位となった。

満足の理由として、

「ゴミは分別やリサイクルなどもしっかりされているように見えます。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「ゴミ分別に関しては他の市町村と比較して細かすぎる。」

といった意見があった。

審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・生活環境に影響があるような場合の空き家・空き地対策について検討してください。
- ・地域住民の協力を得るなどして、公園の適切な維持管理に努めてください。